vinetur

独立系ワイン生産者1,005人が集う「Mercato dei Vini」、ボローニャで開催へ

11月21～23日にBolognaFiereで開催。4つのホールで8,000種類以上のワインを試飲できる

2026年11月18日（水）



独立系ワイン生産者組合が主催する「Mercato dei Vini dei Vignaioli Indipendenti」の第15回が、11月21日から23日までボローニャの展示会場BolognaFiereに帰ってくる。イタリア各地から1,000人を超える独立系ワイン生産者が集うほか、市内のレストランや一般向けイベントにも展開する。

主催者は水曜日、イタリア全土から1,005人のワイン生産者が出展する予定だと発表した。チェコ共和国、ブルガリア、スロベニアから欧州の生産者団も3組参加する。また、イタリア独立系オリー

ブ生産者連盟FIOIの会員29人も加わる。主催者によると、試飲できるワインは8,000種類を超える。

独立系ワイン生産者のイタリア連盟FIVIのためにBolognaFiereが運営するこのイベントは、ブドウ畑からボトル詰めまで生産の全工程を担う小規模・中規模生産者にとって、国内有数の年次イベントとなっている。BolognaFiereのジャンピエロ・カルツォラーリ会長は、同社がFIVIとの協力関係を2028年まで更新したと説明。出展者が全国から集まり、地域経済にも幅広く貢献する催しの継続につながると述べた。

FIVIのリタ・バビーニ会長は、来場者が生産者と直接対面できることが、この市場の強みだと語った。また、各地の生産者が一堂に会する同イベントを、イタリアワインの縮図と表現した。

展示面積は4万平方メートルで、4つのホールを使用する。ワイン生産者は29番、30番ホールに配置し、26番、28番ホールは食品と来場者向けサービスに充てる。パートナー企業とスポンサーは中央ギャラリーに出展し、FIVIはモールエリアに公式ブースを設ける。

来場者の入場時間は11月21日午前11時から、最終日の23日午後5時まで。主催者によると、入場券の価格は前回までと同水準に据え置く。ソムリエや業界関係者向けの既存割引を継続するほか、Bologna FC 1909とFortitudo Pallacanestro Bologna 103の会員向けに新たな割引を導入する。

会場でワインを購入する来場者向けのサービスも継続する。主催者によると、ボトルを駐車場まで運ぶための台車を用意するほか、購入量が多い場合に利用できる会場内の配送サービスも提供する。

展示会場にはPiazza Costituzione側と北側の両方から入場できる。BolognaFiereによると、徒歩、公共交通機関、自動車で来場する人の入場を円滑にするための措置だ。Piazza Costituzione付近の駐車場に加え、5,500台を収容でき、Bologna Fiera高速道路出口に近い立体駐車場Michelinoも利用できる。

Trenitaliaとの協定更新により、鉄道運賃の割引も提供する。主催者によると、同社のFrecciarossa、Frecciargento、Frecciabianca、Intercity、Intercity Notteを利用する来場者は、同社の条件および事前購入期限に従い、通常運賃から最大75％割引となる特別運賃を予約できる。

会場内では、「THINK PINK: Wines and Winegrowers Building Hope」をテーマに、4つのマスタークラスを開催する。11月21日はRabizza Wineryとイタリアの土着品種によるロゼワインを取り上げる。22日はNino Caravaglioの島しょ部のワイン造りと、Marinella Camerani のヴァルポリチェッラワインに焦点を当てる。

エミリア＝ロマーニャ州政府も29番ホールのブースで、ガイド付き試飲会を8回開催する。欧州の原産地呼称保護および地理的表示保護の認証を受けた州内の食品を、FIVI加盟生産者の地元ワインと組み合わせ、州のワイン・エノテカの協力を得て紹介する。

会期中、主催者は協会に関連する2つの賞の今年の受賞者を表彰する。食品ロス削減に取り組む団体RECUPが「Vignaiolo come noi」賞を受賞し、FIVI創設者の一人にちなんで名付けられた「Leonildo Pieropan」賞は、トレンティーノのワイン生産者Mario Pojerに贈られる。

イベントはボローニャのレストランやナイトライフにも広がる。11月20日と21日には、ボロニーナ

地区のMercato Albaniにある5店舗で、ワイン業界の女性や男性が参加する夜のプログラム「FUORI DI FIVI」を開催する。21日には、Confcommercio Ascom Bolognaが企画する「Notte bianca della ristorazione」に、ボローニャ市内と周辺地域の56店舗が参加。出展者や来場者向けに、各店は深夜まで営業する。Mercato Albaniでの催しと合わせ、会場外のプログラムには60を超える店舗が参加する。

水曜日の発表では、州および市の関係者がイベントの経済的な役割を強調した。エミリア＝ロマーニャ州の農業・農産食品担当評議員Alessio Mammiは、州が市場対策と州予算から2,600万ユーロ超を投じてワイン産業を支援し、ワイン生産を観光や農村振興にも結び付けていると述べた。農業や農産食品などを担当するボローニャ市のDaniele Araは、職人的な生産を環境問題や新たな起業の形と結び付けるイベントを市として歓迎すると語った。

Confcommercio Ascom Bolognaの事務局長Giancarlo Tonelliは、この見本市が生産者、レストラン経営者、消費者をつなぎ、ボローニャの食を目的とした観光の魅力を高めると述べた。同団体はその取り組みの一環として、11月21日のレストラン企画を支援する。